

令和6年度 第3回 大学リーグやまぐち 全体会議

令和7年3月

次 第

日 時 : 令和7年3月25日(火) 9:30~10:30
場 所 : 山口県庁正庁会議室 (WEB会議併用)

◆ 開 会
◆ 議 題

第1号議案 令和7年度収支予算(案)及び事業計画(案)

◆ 報告事項

- 1 山口県の専門職分野が求める人材像(専門職分野の関係団体調査結果)
- 2 ふるさと納税制度(県内大学等指定寄附)の創設
- 3 就業体験(インターンシップ等)の推進
- 4 県内高等教育機関の状況

◆ 意見交換
◆ 閉 会

大学リーグやまぐち全体会議 委員名簿 (1 / 2)

(R7.3月時点)

区分	所属学校・機関・団体等	役職名	氏名	備考
大学・短期大学・高等専門学校	宇部フロンティア大学・短期大学部	学長	高田 晃	監事
	山陽小野田市立山口東京理科大学	学長	武田 健	
	至誠館大学	学長	野村 興兒	
	下関市立大学	学長	韓 昌完	
	周南公立大学	学長	高田 隆	監事
	水産大学校	校長	下川 伸也	
	東亜大学	学長	鵜澤 和宏	
	梅光学院大学	学長	樋口 紀子	
	放送大学山口学習センター	所長	杉浦 崇夫	
	山口学芸大学・山口芸術短期大学	学長	岡村 康夫	
	山口県立大学	学長	田中 マキ子	
	山口大学	学長	谷澤 幸生	会長
	岩国短期大学	学長	若本 公夫	
	下関短期大学	学長	山本 正俊	
	山口短期大学	学長	麻生 隆史	副会長
	宇部工業高等専門学校	校長	金寺 登	
大島商船高等専門学校	校長	藤本 隆士		
徳山工業高等専門学校	校長	野口 健		

大学リーグやまぐち全体会議 委員名簿 (2 / 2)

(R7.3月時点)

区分	所属学校・機関・団体等	役職名	氏名	備考
経済団体	山口経済同友会	代表幹事	平岡 英雄	
	山口県銀行協会	常務理事	綿重 栄	
	山口県経営者協会	会長	山本 謙	
	山口県商工会議所連合会	会頭	曾我 徳将	
	山口県商工会連合会	会長	安倍 隆史	
	山口県信用金庫協会	事務局長	福武 修	
	山口県中小企業経営者協会	代表理事会長	荻野 利夫	
	山口県中小企業団体中央会	会長	矢敷 健治	
支援機関	山口県産業技術センター	理事長	小関 浩幸	
	やまぐち産業振興財団	理事長	山本 謙	
	山口しごとセンター	センター長	柳谷 和暉	
私学団体	山口県私立大学協会	会長	麻生 隆史	
	山口県私立中学高等学校協会	会長	古田 圭一	
	山口県専修学校各種学校協会	会長	関谷 豊	
国	山口労働局	局長	友住 弘一郎	
市町	山口県市長会・山口県町村会	事務局長	本多 昭洋	

議題（第1号議案）

令和7年度収支予算（案）及び事業計画（案）について

大学リーグやまぐち 令和7年度収支予算（案）

【収入の部】

（単位：円）

科目	R6予算額	R7予算額	差引	内容
前年度繰越額	430,333	396,280	▲34,053	
事業収入	27,040,000	26,776,000	▲264,000	
県補助金	26,500,000	26,190,000	▲310,000	大学等地域活性化人材育成推進事業
負担金	540,000	586,000	46,000	進学ガイドブック負担金 等
雑収入	100	1,000	900	
預金利息	100	1,000	900	
収入合計	27,470,433	27,173,280	▲297,153	

【支出の部】

（単位：円）

科目	R6予算額	R7予算額	差引	内容
管理費	85,000	85,000	0	
諸会費	30,000	30,000	0	「全国大学コンソーシアム協議会」会費
消耗品費等	55,000	55,000	0	振込手数料、負担金請求書郵送料等
事業費	27,088,000	26,824,000	▲264,000	
委託料	23,432,000	23,084,000	▲348,000	アドバイザーの配置(4名)、イベント企画運営 等
負担金補助	2,528,000	2,520,000	▲8,000	DS共通教材作成、キャリア教育支援事業
印刷製本費	1,128,000	1,220,000	92,000	県内進学ガイドブック 等
予備費	297,433	264,280	▲33,153	
支出合計	27,470,433	27,173,280	▲297,153	

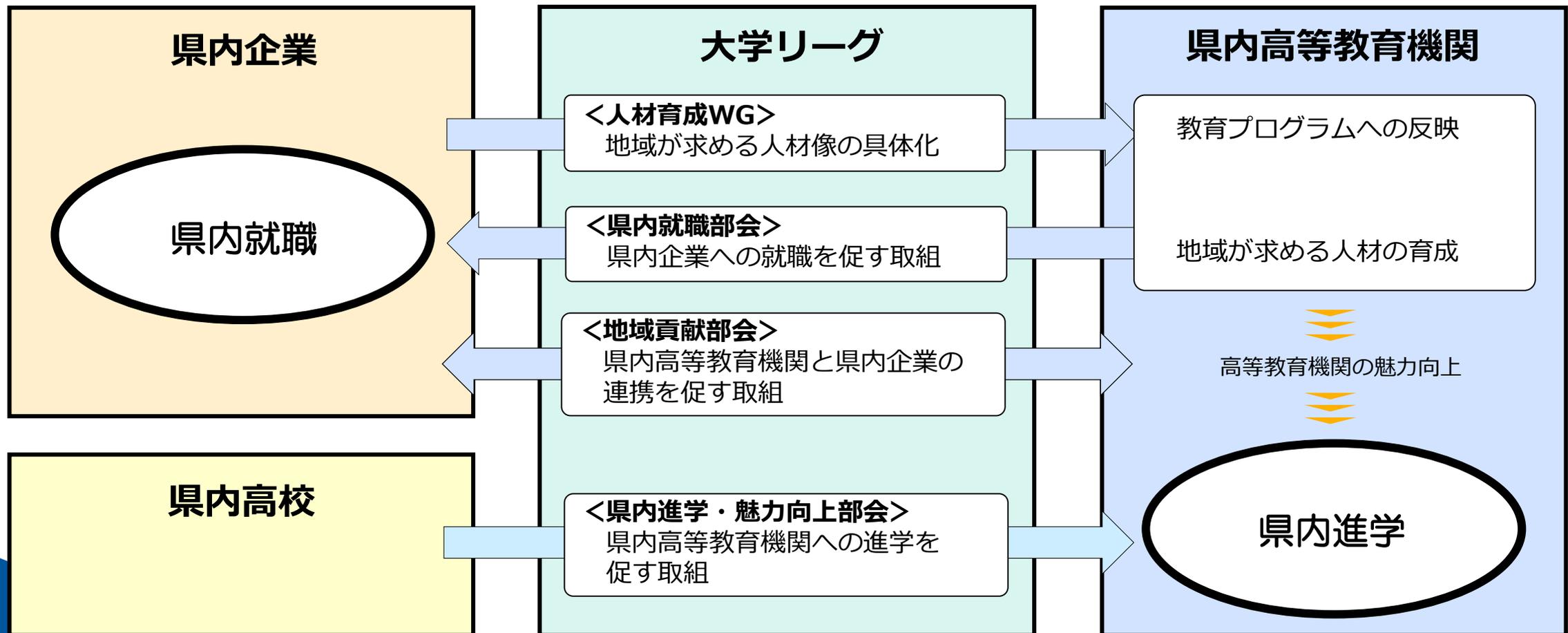
【大学リーグやまぐちの収支予算を經由しない予算】

（単位：円）

科目	R6予算額	R7予算額	差引	内容
県補助金	2,490,000	2,800,000	310,000	県内進学・仕事魅力発信フェア開催経費(山口県専修学校各種学校協会に対する補助)

大学リーグやまぐちの取組の全体像

県内高等教育機関（大学・短大・高専）が県内企業等と連携して行う地域や時代のニーズに沿った人材育成の取組を、大学リーグやまぐちが支援することにより、県内定着（県内進学・県内就職）を促進する。



各部会の数値目標の達成状況等

各部会の数値目標の達成状況は次のとおりとなっている。

部 会	内 容	R5実績	数値目標					実績
			R6	R7	R8	R9	R10	R6
県内進学 魅力向上	県内高校出身者 比率	37.5%	39.5%	41.5%	43.5%	45.5%	47.5%	37.2%

部 会	内 容	R4実績	数値目標					実績
			R5	R6	R7	R8	R9	R5
県内就職	県内就職率	32.5%	34.5%	36.5%	38.5%	40.5%	42.5%	31.4%
地域貢献	PBL実施件数	119件/年	122件/年	132件/年	142件/年	150件/年	160件/年	142件/年
	うち山口県版	52件/年	61件/年	66件/年	71件/年	75件/年	80件/年	44件/年

目 標

県内高校出身者比率：5年間（R5 → R10）で10ポイントアップ

県内就職率：5年間（R4 → R9）で10ポイントアップ

PBL実施件数：県内全ての高等教育機関においてPBLの取組を推進

山口県版：学生主体、活動期間1年間、単位の付与、連携先企業から活動費として20万円受領すること等を条件とした、大学リーグのマッチング支援の対象のPBL

大学リーグやまぐち 令和7年度事業計画（案）

部 会	事 業 内 容
県内進学・魅力向上	県内進学促進（県内進学ガイドブック、オープンキャンパスマップ、県内進学ポータルサイト）
	県内進学・仕事魅力発信フェアの開催（共催）
	県内大学等の魅力発信（SNS、イノベーションスタド、出前講義、夏休みこども塾、学生サポート等）
	拡 県内進学・魅力向上に向けた学生意見交換会の開催 【県内進学率UP】
	拡 データサイエンス教育連携
	その他（大学教育セミナーInやまぐち、大学マネジメントセミナー in やまぐち）

大学リーグやまぐち 令和7年度事業計画（案）

部 会	事 業 内 容
県内就職	県内企業の魅力を発信する企画・イベント開催等の促進（アドバイザーの配置等）
	「山口きらめき企業の魅力発見フェア」（Jobフェア）の開催
	分野特化型企业交流会の開催【県内就職率UP】、ガクセイ社会科見学の開催
	新 アントレプレナーシップ教育の促進
	県内企業と連携したキャリア教育等支援事業 ※県内進学・魅力向上部会共同事業
	その他（留学生の県内定着のための企業向けオンラインセミナーの開催、キャリア担当教職員向け県内企業オンライン説明会の開催）

大学リーグやまぐち 令和7年度事業計画（案）

部 会	事 業 内 容
地 域 貢 献	<p>拡 課題解決型学習（PBL）の促進（アドバイザーを活用したマッチング支援、PBL実践報告会の開催）【PBL取組校及びPBL取組件数UP】</p>
	<p>拡 共同研究実施支援（アドバイザーを活用したマッチング支援、機運醸成に係るバスツアー実施及びパンフレットの作成）</p>
	<p>リカレント教育の促進（県内高等教育機関リカレント教育プログラム一覧の作成）</p>
	<p>地域が求める人材育成ワーキンググループ</p>
	<p>山口県大学ML（ミュージアム・ライブラリー）連携特別展</p>
共 通	<p>「大学リーグやまぐち人材育成協力パートナー制度」の運用</p>

大学リーグやまぐち 令和7年度事業計画（案）

今年度の事業を実施する中で明らかになった課題が解決できるよう、令和7年度に向けて事業の見直しを行い、各部会で設定した数値目標の達成を目指す。

県内進学・魅力向上に向けた学生意見交換会の開催【県内進学・魅力向上】

課題（県内進学・魅力向上に関する学生意見交換会）

- 県内大学等に進学した学生による意見交換会を開催し、県内進学率の向上に向けたアイデアや県内進学の魅力について意見交換を行い、その様子を県内進学ガイドブックの記事や動画に編集し、高校生へ周知した。
- 一方で、発信する内容が、高校生に向けた一方通行的なものになっていることが判明したため、**高校生にとってより魅力的な情報発信となるような工夫**が必要。

県内進学率UP

⑧ 県内進学・魅力向上に関する学生意見交換会

- 学生意見交換会の参加者は、県内大学等に進学した学生だけでなく、**県内高校生も対象とすることで、高校生にとって年の近い存在である学生に直接進学に関する質問などができるイベント**へと発展させる。

大学リーグやまぐち 令和7年度事業計画（案）

データサイエンス教育連携【県内進学・魅力向上】

課題（データサイエンス教育の普及）

- データサイエンス共通教材の作成・共有化が始まったが、身に付けさせたい知識・技術が学修者に定着しているのかを確認する機会がないため、教材のブラッシュアップが図りにくいことが判明。
- また、知識・技術をどのようにイノベーション等に繋げていくのか、身の回りの関係者以外からの意見を得る機会が少ないことも課題。

④ データサイエンス学生コンペ

- 県内学生を対象に、データサイエンスを活用したアイデアを募集し、学生による発表会を実施（大学リーグやまぐちデータサイエンス教育ワーキンググループにおいて審査を行い、優秀作品を表彰）。
- 学生のコンテスト参加意識の醸成、アイデア創出、プレゼンテーションのスキルアップを図り、デジタル人材の教育・輩出に繋げる。

大学リーグやまぐち 令和7年度事業計画（案）

分野特化型企业交流会の開催【県内就職】

課題（デジタル人材の県内定着に向けた支援）

- デジタル社会においては、全ての学生に広くデジタル技術の素養を身に付けさせる教育が求められるため、県内の高等教育機関では、情報系学部・学科の設置など、デジタル人材の育成に力を入れ始めたところである。
- 一方、県内高等教育機関が育成するデジタル人材が、本県のどのような企業において活躍していくことができるのか、目に見えて分かる機会が少なく、卒業後の県内定着に向けた不安を抱えている状況となっている。

県内就職率UP

⑧ デジタル人材の県内定着の促進

- デジタル人材を育成する学科等を有する大学等を中心に、デジタル分野の企業の社員との交流機会を提供し、学生及び教員の具体的なキャリアイメージの涵養を促進する。

大学リーグやまぐち 令和7年度事業計画（案）

アントレプレナーシップ教育の促進【県内就職】

課題（キャリア教育に係る取組の支援）

- 高等教育機関が地域に還元する人材が、様々な場面において活躍できるよう、新たな価値を生み出していく人材が求められており、その実現には、様々な切り口からの教育が必要であるとともに、各学校段階でのキャリア教育の充実も望まれている。
- 急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出していく精神（アントレプレナーシップ）を備えた人材を創出するための取組が必要となっている。

新 アントレプレナーシップ教育の促進

- 各大学等が県内企業等と連携して行う、学生のアントレプレナーシップ醸成に向けた取組（講演・講義やセミナー、ワークショップの開催等）への支援を行う。

大学リーグやまぐち 令和7年度事業計画（案）

課題解決型学習（PBL）の促進【地域貢献】

課題（PBL実施支援）

- 県内企業と大学等のPBLの実施に向けて、各大学等の取組が進み、**実績件数が増加**。
(R4 119件、R5 142件)
- 一方で、PBL未実施校の状況は変化しておらず、**未実施校に対するこれまでになく視点での支援**が必要となっている。(R4 8校、R5 8校)
- また、PBL実施校に対しては、将来的な自立化を見据えた取組支援がなく、**自立化を見据えた支援内容**の提供を考える必要がある。

P B L 取組校及びPBL取組件数UP

拡 P B L 実施支援

- P B L 未実施校に対して、未実施校から企業等に対してP B L を提案する段階からアドバイザーによる現場支援を行うなど、**伴走型のマッチング支援**を実施。
- P B L 実施件数のさらなる増加に向けて、**将来的な自立化を見据えた取組支援として、優良事例等の共有**を図る。

大学リーグやまぐち 令和7年度事業計画（案）

共同研究実施支援【地域貢献】

課題（共同研究実施支援）

- 県内企業と大学等の共同研究実施に向けて、アドバイザーによるマッチングを実施しているが、**実績件数が伸び悩んでいる状況**。（R4 3件、R5 3件、R6 2件見込み）
- 大学等と企業の関係づくりや機運醸成を図るため、バスツアーを実施したところ、企画運営段階において、企業にとっては、**大学等が提供できる知識や技術、大学のリソース、大学等との関わり方が分かりづらい**ことが判明。

⑧ 共同研究実施支援（機運醸成パンフレットの作成）

- 共同研究実施に向けた大学等と企業の関係づくりや機運の醸成を図る**バスツアーの参加者に対して行ったアンケート調査結果（機運醸成を図るパンフレットの作成を求める声）**に対応。
- 大学教員の研究テーマなど、大学等のリソースや大学との関わり方（大学等が提供しているサービスや相談窓口など）が分かる**パンフレットの作成・周知**を図る。

大学リーグやまぐち 令和7年度事業計画（案）

「大学リーグやまぐち人材育成協力パートナー制度」の運用【共通】

課題（高等教育機関と県内企業の連携強化）

- 高等教育機関と県内企業等の連携については、PBLの取組件数が増えているなど、県内企業と大学等が連携・協働して取り組みを実施するケースが増加しているものと考えられる。
- 一方で、企業からは各大学等の取組が見えにくく、また、各大学等からも企業の取組が見えにくい状況となっており、互いを知る機会が重要である。
- また、昨年度取りまとめた「山口県の産業界が求める人材像」においても、企業と学生を繋ぐ取組など、大学リーグやまぐちや各大学等に対して期待する声が挙げられている。こうした声に応える体制づくりが求められている。

新 パートナー制度の運用開始

- 双方向に繋がるための窓口リストを各大学等や企業で共有する（県内企業（パートナー企業）のリストを大学等に共有するとともに、大学等のリストを県内企業に共有）。
- 企業が大学リーグやまぐちに期待することとして挙げられている意見等を踏まえた取組を検討し、企業からのニーズに応える体制と取組を実施。

報告事項 1

山口県の専門職分野が求める人材像（専門職分野の関係団体
調査結果）

山口県の専門職分野が求める人材像（専門職分野の関係団体調査結果）

目的

昨年取りまとめた「山口県の産業界が求める人材像」を踏まえて、各大学等が教育の充実を図っていく中で、専門職分野が求める人材についても教育の充実が図られるよう、専門職分野の今後の取組の検討をするための基礎資料とするためのヒアリング調査を実施

対象団体

公益社団法人山口県看護協会、山口県教育委員会、社会福祉法人山口県社会福祉協議会

調査結果（大学リーグやまぐちに期待する支援）

- （看護）知識や技術的助言・講演ができる看護分野の人材バンクや、学生に対して県看護協会の会員に入るメリットを説明する機会がほしいといった期待が挙げられている。
- （教育）教職課程を選ばない学生や、選択したにもかかわらず教職に就かない学生に対して、その理由や判断の時期などを問うアンケートを実施してほしいとする期待が挙げられている。
- （社会福祉）福祉系学部等の学生に対して、福祉・介護職のイメージの改善を図り、福祉分野での就職を促してほしいとの期待が挙げられている。

山口県の専門職分野が求める人材像（専門職分野の関係団体調査結果）

調査結果（その他）

区 分	看 護	教 育	社会福祉
大卒人材に期待する 資 質・能力・知識	看護職は人の命を預かるため、自らが学び続ける力や倫理観	課題設定・解決能力、論理的思考力、他者と連携・協働する姿勢	社会性や、毎年のようにある制度改正に対応できるだけの学び続ける力
大学に期待する 教育	専門性の充実やICTの基礎的な教育	二種免許状の取得に係る柔軟なカリキュラムの構築	大学等の各種研修への参加や自発的に学ぶ機会の提供
大学に期待する リカレ ント教育	高度医療に対応する看護技術・知識の習得	科目等履修制度の改善・充実による教育プログラム	大学教員が講師として研修に協力

報告事項 2

ふるさと納税制度（県内大学等指定寄附）の創設

ふるさと納税制度（県内大学等指定寄附）の創設

目的

本県の最重要課題である人口減少の要因の一つである若者の県外流出を防ぎ、新たな時代において県内で活躍する人づくりを推進するため、ふるさと納税制度を活用し、県内大学等（大学、短大、高専）が行う、若者の県内定着に向けた取組を支援する。

対象校

「大学リーグやまぐち」に参加している**県内大学等**

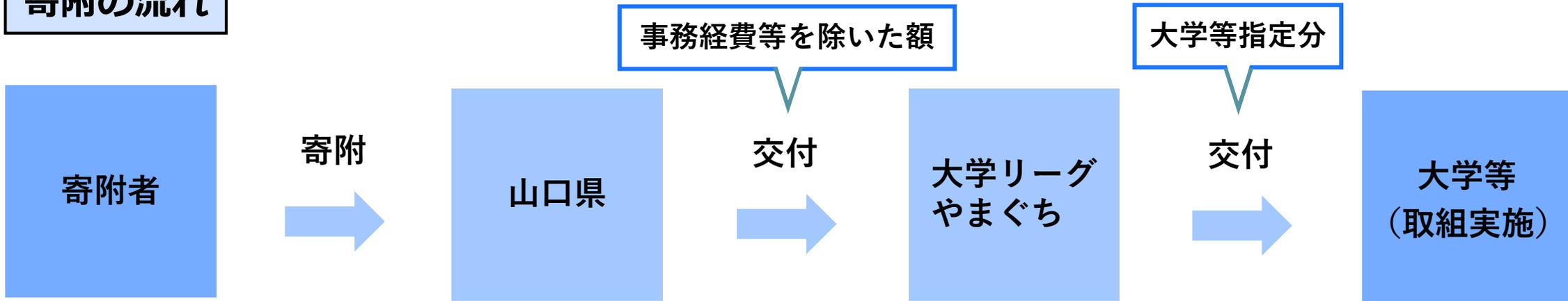
対象事業

対象校が実施する、県内企業との交流会の開催や就業体験の促進等、学生の県内定着に繋がる取組を対象とし、取組内容については各大学等から募集する。

※寄附募集時に「学校名」及び「取組内容」を一覧にして提示し、寄附者は応援したい大学等を選択して寄附（大学等指定寄附）。

ふるさと納税制度（県内大学等指定寄附）の創設

寄附の流れ



寄附の受入期間	交付時期	備考
R7.4月～R7.9月	R8年度	ふるさと納税制度によって、県が寄附者から受け入れた寄附金の交付は、寄附を受け入れたタイミングによって、交付の時期が異なります。 前年10月～当年9月までに受け入れた寄附金は、翌年度、交付されます。
R7.10月～R8.3月	R9年度	

ふるさと納税制度（県内大学等指定寄附）の創設

令和7年度の実施（13機関が制度を活用予定）

各大学等への希望調査結果

機関名		取組内容
大学	山口大学	学生の活躍とキャリア支援強化のための環境づくり
	周南公立大学	県内企業の魅力の発見と理解を深めるため交流会や就業体験を実施
	山口県立大学	交流会や見学会の実施等による県内企業の魅力発見
	山陽小野田市立山口東京理科大学	県内企業・自治体との連携強化、地域イベントへの企画支援
	下関市立大学	企業を大学に招聘し学生の業界・企業研究を促す業界研究会を開催
	宇部フロンティア大学	交流会や見学会の実施等による県内企業・施設の魅力発見
	東亜大学	若手社員による県内企業・団体PR大会及び学生との交流会
	梅光学院大学	留学による国際感覚を活かし県内企業と地域の未来を創る（PBL）
短大	岩国短期大学	子育て支援環境の充実と地域活性化に向けた産学官の連携強化
	山口短期大学	地元企業・事業所の魅力発信及び就職情報の提供
	宇部フロンティア大学短期大学部	交流会や見学会の実施等による県内企業・施設の魅力発見
高専	大島商船高等専門学校	地域連携交流会会員企業との意見交換会等による県内企業魅力発見
	宇部工業高等専門学校	県内企業と連携した学生向け企業研究会や見学会等の開催